



横浜市立山下小学校

学校だより

令和3年2月26日

2年度—12号

『自らの生き方を切りひらく 子どもの育成』

～やさしさ いっぱい かがやく えがお～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yamashit>



ありがとうございました

校長 中畷 弘喜

1年前の2月28日、文部科学省から全国一斉の臨時休校措置の連絡があり、長期にわたる休校が続きました。6月に学校は再開することができましたが、子供の健康と安全を守るために、様々な制約の中で学習を進めることになり、生活の仕方も大きく変化することとなりました。これまで地域や保護者の皆様のご理解とご協力があり、校内での感染が発生することなく、この3月を迎えることができました。ありがとうございました。

緊急事態宣言が延長される中、先日は各学年の懇談会に多くの皆様にご出席いただきました。各学年、発表形式の授業参観を予定していましたが、感染予防のため残念ですが懇談会のみの実施とさせていただきます。日本でも医療関係者へのワクチン接種が始まり、感染予防への期待が高まりますが、一般、子供への接種の時期やその効果も明確になっていない状況ですので、引き続き感染防止に取り組めます。

さて、3月19日に6年生が山下小学校を卒業します。6年前に大きなランドセルを背負って入学した子供たちが、小学校の教育課程を終え、中学校に進みます。6年生は、学校のリーダーとして活躍する場面や機会が限られた中でも、下級生のことや学校のことを考え、自分たちのできることを工夫して取り組んでくれました。委員会やクラブ活動をはじめ、あいさつ運動や清掃活動等、卒業を意識することで、感謝の思いを伝えようとより主体的に活動してくれています。

また、5日には、5年生が中心となって6年生への感謝の気持ちを伝える“卒業おめでとうの会”が行われます。残りわずかとなりますが、小学校の6年間を振り返り、自分の成長を確かめ、自信をもって卒業を迎えてほしいです。

子供の成長は、本人の努力はもちろんのことですが、多くの方に支えられて達成されています。その支えに気づき、感謝の気持ちをもてることが、一番の成長につながります。学校は、子供たちの「感謝の気持ち」を育むことを大切にするとともに、学校自体が多くの皆様に支えられていることに心から感謝しています。

令和3年度は、4月7日に新生を迎え、スタートします。変わらぬご支援とご協力をお願いします